

**緊急情報**

**きのこ食中毒にご注意ください！**

これからきのこ採りシーズンを迎え、山に入る機会も多くなります。  
きのこ採りの際には、毒きのこが混じっていることがありますので、十分注意してください。**今シーズン、隣県できのこ食中毒が発生しています！**

**毒**

**ツキヨタケ**



- 山形県で最も中毒が多い。
- 石づき(きのこの柄)を縦に裂くと芯の部分に黒褐色から暗紫色のしみが見られる。まれに、しみが分かりにくいものがあるので注意が必要。
- ひだの付け根につば様の隆起帯あり。
- 間違えやすいきのこ  
ムキタケ、ヒラタケ、シイタケ
- 食後30分から1時間程度でおう吐、下痢、腹痛などの中毒を起こす。

**毒**

**クサウラベニタケ**



- 雑木林や松の混在する林内に、点々と生えるまたは群生する。
- 傘は薄いねずみ色、淡黄灰色、茶色のものもある。絹糸状の光沢が特徴。
- 茎は細長く、中空のためもろく折れやすい。(なかには太く中空でないものもある。)
- 食後20分から1時間程度でおう吐、下痢、腹痛などの中毒を起こすほか、瞳孔の収縮、発汗など。

写真提供：山形県衛生研究所

食用キノコと確実に判別できないものは

**採らない！ 食べない！  
おすそ分けしない！**

山ではクマとの遭遇や遭難などにもご注意を！

